

平成 24 年度 第 162 回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成 24 年 5 月 15 日 (火) 13 : 30 ~ 14 : 10

場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室

出席者 近藤学長、岡本副学長、梶原副学長、木原副学長、井村事務局長、伊藤外国語学部長
吉田経済学部長、松尾文学部長、山本法学部長、伊野地域創生学群長、龍国際環境工学部長、
横山社会システム研究科長、王マネジメント研究科長、田部井学生部長、田村大教務部長、
古賀都市政策研究所長、八百冨図書館長、漆原基盤教育センター長、柳井入試広報センター長、
隈本情報総合センター長、上江洲地域貢献室副室長、廣渡評価室副室長

- 配布資料
- 1 欠員補充申請書 (法学部)
 - 2 法学部の規程改正について
 - 3 平成 25 年度からの科目表 (平成 24 年 5 月 15 日現在)
 - 4 平成 23 年度卒業生の進路状況 (平成 24 年 3 月 31 日現在)
 - 5 北九州市立大学科学研究費補助金の獲得状況 (平成 24 年 4 月 23 日現在)

第 1 号 教員の採用について

* 資料1 (pp. 1-2) のとおり、法学部からの申請に基づき、平成24年3月31日付けで割愛退職した中山布紗准教授の後任として、行政法学担当教員1名の欠員補充について提案。

- 中山准教授の担当分野は「民法学」であるが、公立大学の法学部としての行政法関係科目の重要性、また、今後の所属教員の学問分野のバランス等を考慮し、欠員補充にあたっては担当分野を「行政法学」に変更して行いたい。なお、今後、民法学担当教員の補充が必要な場合は、行政法学担当の採用枠から採用する考えである。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1 (pp. 3-4) のとおり、法学部からの申請に基づき、平成25年3月31日付けで定年退職する吉村弘教授の後任として、刑事訴訟法担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

* 資料1 (pp. 5-6) のとおり、法学部からの申請に基づき、平成25年3月31日付けで定年退職する中道壽一教授の後任として、現代政治思想担当教員1名の欠員補充について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

(議案承認の後、選考委員会を設置)

第 2 号 法学部規程の改正について

* 資料2のとおり、法学部規程の改正について提案。

- 社会人選抜入学者の場合、仕事等の事情により履修できる授業が制限され、進級要件の単位を満たすことが困難な状況となっている。このため、法学部規程を改正し、社会人選抜入学者の進級要件を緩和することを提案する。
- 付則第 2 項では、平成 19 年度入学者まで遡って適用することを定めているが、その考え方を確認したい。
- 今回の進級要件の緩和は、当事者の不利益とはならず、利益となる場合に該当すると考えており、遡及して適用できるものと判断している。

- 平成 19 年度以降の入学者に適用するとした理由は何か。
- 現行の進級制度の導入が平成 19 年度入学者からであったためである。
- 今後、社会人学生の修業年限等について、本学としての考え方を示していく必要があるのではないか。
- 社会人教育の充実は、中期計画の 1 つとしても挙げられている。今後検討していくこととしたい。

【議長】 提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】 （異議なし）

報告

- ① 平成 25 年度からの授業科目一覧（学部・学群）について、資料 3 のとおり報告があった。
- ② 平成 23 年度卒業生の進路状況について、資料 4 のとおり報告があった。
- ③ 科学研究費補助金獲得状況について、資料 5 のとおり報告があった。
- ④ 次回の審議会を 5 月 22 日（火）に開催する予定である旨、報告があった。